

## 令和元年度 第1回

### JCHO 東京蒲田医療センター地域協議会議事録

日 時：令和元年7月2日（火）14：00～15：00

場 所：JCHO 東京蒲田医療センター 健康管理棟2階大会議室

出席者：西田委員（大田区保健所所長）

宮島委員（蒲田医師会監事）

神成委員（特別養護老人ホーム大田翔裕園施設長）

薄井委員（岩井機械工業株式会社専務取締役）

田中委員（南蒲田二丁目町内会町会長）

東京蒲田医療センター：石井委員、小名木委員、濱岸委員

菅原委員、鈴木委員

司 会：東京蒲田医療センター院長 石井耕司

#### 【議事内容】

##### （院長）

本日は、お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。令和元年度第1回地域協議会を始めたいと思います。よろしく願います。

##### （菅原委員）

資料に基づき次の事項について説明を行った。

「事業概要：平成30年度下半期の業績報告」

- ①1日平均入院患者数 ②平均在院日数 ③手術件数 ④1日平均外来患者数
- ⑤紹介率 ⑥逆紹介率⑦救急搬送患者数 ⑧健康管理センター受診者件数 ⑨訪問看護

##### （鈴木委員）

資料に基づき次の事項について説明を行った。

「地域との交流：平成30年度下半期の交流報告」

- ① 地域医療連携セミナー ②区民公開講座 ③認定看護師のミニセミナー
- ④オレンジカフェ

##### （進士委員）

資料に基づき「平成30年度患者満足度調査結果」について説明報告を行った。

**(院長)**

資料に基づき「B型肝炎ウイルス再活性化の問題」について講義を行った。

**(菅原委員)**

当院からのご報告等は以上です。ご意見など頂ければと思います。

**(薄井委員)**

我々は数字だけを並べられても病院運営状況がどうなのかピンとこない。入院患者数は基本的には同じような水準で推移しているようですね。230床ということなので、稼働率は75%くらいとなりますが、これはどういうふうに評価すればよいのか。まだまだ余裕がある状態なのか、余裕のない状態なのか。

**(院長)**

目標は80%以上だと思う。しかし在院日数が短くなって稼働率が良くなり、新入院患者の総人数は増えているがベッドが埋まる率は変わらないという状況です。さらに急性期の入院患者さんを増やしていきたいと思う。ここ3年で紹介患者数が右肩上がりが増えてきており、今後数字も良くなっていくと思われま。

**(西田委員)**

貴院の特色はありますか。

**(院長)**

当院は、三次救急に対応をしておらず、二次救急をメインとして救急医療を行っております。特殊外来は行っておりませんが、まんべんなく診療を行える体制を整えています。

**(田中委員)**

最近、日本各地で災害が大変多くなっています。東京蒲田医療センターとしては災害が発生した場合、どのように対応して頂けるのか。程度の軽い者は地域住民でできる範囲の対応は行っていきたいと思っているが。

**(院長)**

当院は、東京都から災害拠点連携病院に指定されています。ICUなど必要な患者さんは東邦・昭和・労災・大森赤十字病院等の災害拠点病院での対応となります。当院は災害拠点連携病院ですので、主に中等症者や容態の安定した重症者の対応をいたします。又、災害発生時から72時間以内に地元の医師会と当院の医師が病院の前にテ

ントを立てて救護所を設置し、トリアージを行いながら処置いたします。

**(宮島委員)**

開業して25年たち、10年前とは違い、ここ5年位から病院全体の雰囲気は良くなってきているような気がします。当院で今紹介している病院はほぼ東京蒲田医療センターです。それなりに対応して頂けているので助かっていますが、外来での接遇や、待ち時間などさらにの改善していただければと思っております。

**(院長)**

貴重なご意見ありがとうございます。さらに改善に努力していきたいと思っております。

**(薄井委員)**

誤嚥性肺炎のセミナー時にケースワーカーさんから同じテーマでもう一度講演をして欲しいと話が上がったと言っていたが、すごく大切なことだと思う。最新の情報を知らせることもそうですが、常識的なことを広く浅く周知していくことも大事だと思います。地域に広めていくことは、すごく大事な活動だと思いますので、継続してください。

本日はお忙しい中ありがとうございました。これからも地域に必要とされる医療機関を目指し努力していきたいと思っておりますので、当院にご要望がありましたらご意見を頂ければ幸いです。今日は本当にありがとうございました。

以上にて閉会となる。